



地球とともに

私たちは、環境にやさしい企業活動を推進します

Glicoグループは、自然の恵みがあるからこそ事業活動が成り立っていることを理解し、事業上の決定や行動において、地球環境に与える影響を考慮しています。そして、大切な地球の持続可能性を確保し、将来世代へこの恵みを引き継ぐために、バリューチェーン上の様々な過程における環境負荷の低減を図っています。

環境マネジメント

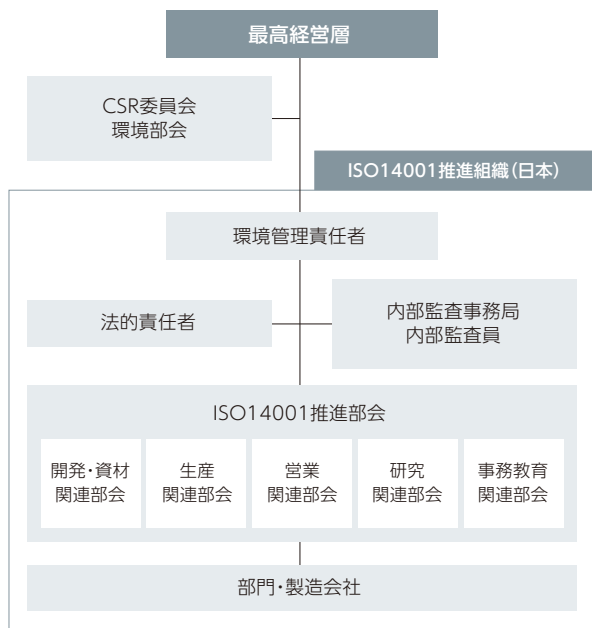
環境マネジメントシステム

Glicoグループは、古くから公害対策や省エネルギー・省資源に取り組んできました。2002年2月からは「環境方針」を制定し、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の要求事項に基づいて、継続的に環境負荷の低減や環境保全に取り組んでいます。

〈ISO14001の認証取得会社〉

- 江崎グリコ
- 東北グリコ乳業
- 仙台グリコ
- 那須グリコ乳業
- 茨城グリコ
- グリコ千葉
- アイスクリーム
- 関東グリコ
- 東京グリコ乳業
- 岐阜グリコ乳業
- 三重グリコ
- 関西グリコ
- グリコ兵庫アイスクリーム
- 鳥取グリコ
- 佐賀グリコ乳業
- 上海江崎格力高食品有限公司関行第一分公司
- 上海江崎格力高食品有限公司関行第二分公司
- 上海江崎格力高南泰食品有限公司
- Bangkok Factory, Thai Glico Co., Ltd.
- Rangsit Factory, Thai Glico Co., Ltd.

環境活動推進体制



Glicoグループ環境方針

環境取り組みに関するGlicoグループの姿勢を明確にし、活動の指針とするため、環境方針を定めています。

また、環境方針をホームページ上にも公開し、お客様や取引先をはじめとするステークホルダーのご理解とご協力をいただきながら、活動を推進しています。

Glicoグループ環境方針

地球規模での自然保護や豊かな人間性の回復へと向かう現代において、わたしたちは、Glicoグループの企業理念である「おいしさと健康」のもと、環境にやさしい企業活動を推進していきます。

1. わたしたちは、お客様に高品質で安全・安心な製品やサービスをお届けすると共に、原材料の調達から生産や供給、最終的に容器包装が廃棄されるまでの過程において、環境負荷の低減に取り組みます。
2. わたしたちは、環境汚染や地球温暖化の防止に取組み、また資源の有効活用を通じて大切な地球が持続可能な社会となるように、法令などのルールを順守し、企業としての社会的責任を果たします。
3. わたしたちは、企業活動の質的向上につなげるため、業務の見直しや効率化に取組みながら、マネジメントシステムを継続的に改善し、その有効性を高めていきます。
4. わたしたちは、環境保全への意識向上を図ると共に、従業員が安全に、そして安心して働けるような事業所を追求していきます。
5. わたしたちは、お客様をはじめとする社会とのつながりを大切にしながら、様々なコミュニケーションや社会貢献の活動を推進します。

この環境方針は、あらゆる人々に公開します。

2016年4月改訂

Glicoグループ環境活動指標

- 商品・サービスへの環境負荷低減
- 地球温暖化防止
- 環境汚染の防止
- 資源の有効活用
- 業務の効率化や見直しによる企業活動の質的向上
- 環境教育や安全取り組み
- 環境コミュニケーションの推進



バリューチェーン全体において、環境にやさしい企業活動を推進しています。

商品・サービスへの環境負荷低減

環境に配慮した商品企画・設計

Glicoグループでは、安全・安心な商品を提供するため、原材料をはじめとする様々な資源を使用しています。原材料の調達から、製造、消費に至るまでの環境負荷を低減するため、開発・企画段階から環境に配慮した商品設計を行っています。

商品原料の集約化(効率的な調達・使用)

「おいしさ」や「健康」にこだわり、品質を追求するための原料研究を進める一方で、効率的で無駄のない製造を行うために、原料数の集約も進めています。

環境に配慮された原材料・包装材料の調達

環境配慮された原材料の調達を進めるとともに、原材料が納入される際の梱包材についても環境配慮されたものを使用しています。また、環境配慮型プラスチックや紙、インクの採用も進めています。

容器・包装の減量化

品質向上を目指し、容器・包装の機能を追求するとともに、減量化による環境負荷の低減にも取り組んでいます。

〈事例〉

- 対象商品:
・アーモンドピーク
・神戸ローストショコラ
- 減量策:
プラスチックトレイの軽量化
- 削減量:
4.1t(2018年度)



家庭排出ゴミ減容の取り組み

お客様が容器・包装を捨てる際に分別しやすいよう、商品には包装材料の種類やリサイクルマークを表示しています。また、箱型商品については、小さくするための加工を行い、家庭から排出されるゴミの体積を減らす工夫を行っています。

海洋プラスチック問題への取り組み

プラスチックごみによる海洋汚染が世界的に問題となっています。Glicoグループでは、商品の購入や飲食シーンを検討した結果、「カフェオーレ」(500ml容量)のストロー貼付を終了いたしました。(2019年3月)

- 削減見込量:6.1t/年(2018年度の年間販売量換算)



自動販売機における対応

「セブティーンアイス」や飲料・デザートは、自動販売機でも販売しています。Glicoグループでは、使用する自動販売機を計画的に省エネタイプに切り替えています。



省エネタイプの自動販売機

セブティーンアイス専用自動販売機

2014年度機比較
35%省エネ

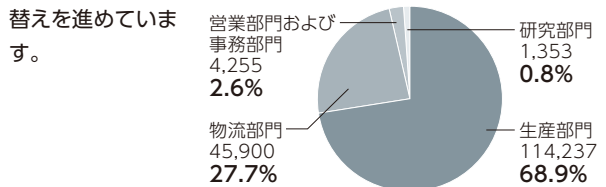
- 真空断熱材追加 ●LED照明

地球温暖化防止

企業活動で使用する電気、ガス等の使用量を管理し、CO₂の排出量削減に取り組んでいます。また、工場等で新しい設備を導入する際には、省エネタイプへの切り替えを進めています。

〈CO₂排出量の部門割合(2018年度)〉

(単位:t-CO₂)



※生産部門、営業部門および事務部門、研究部門については、2018年12月公表の電気事業者別の調整後排出係数を使用。

※物流部門は、省エネ法特定荷主定期報告(平成29年度)による。燃料法・燃費法・トンキロ法を組み合わせる算出。原材料納入、商品配送、廃棄物運搬、オフィスグリコ配送、自社倉庫に関わるエネルギー使用量

※CO₂の排出部門の範囲:ISO14001認証グループ会社(日本)およびその物流委託会社

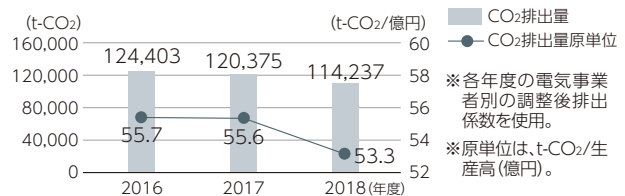
生産部門の取り組み

生産部門では、電気やガスだけでなくさまざまなエネルギーを使用していますが、業務の効率化を図り、省エネを推進しています。また、エネルギーを使用する設備は、計画的に省エネタイプに更新しています。CO₂の排出量が多い重油を使用する設備は、効率を考慮しながら計画的にガス化するなど、エネルギー転換を行います。

水の使用に関しては、一部の工場で工業用水を浄化し、トイレ等の用水として使用したり、一部の生産ラインでは、冷却排水を冷凍設備の冷却に再利用しています。

マネジメントシステムの継続的改善により、CO₂排出量原単位での毎年1%以上の削減を目標にしています。

〈生産部門におけるCO₂排出量の推移〉



2018年度のCO₂排出量は、生産量の減少も影響し、減少傾向となりました。CO₂排出量原単位については、電力購入先の見直しや、工場の統廃合により、改善につながりました。



物流における取り組み

Glicoグループでは、商品の輸送時のエネルギー使用量や、積載効率等にも配慮して、CO₂の削減を進めています。

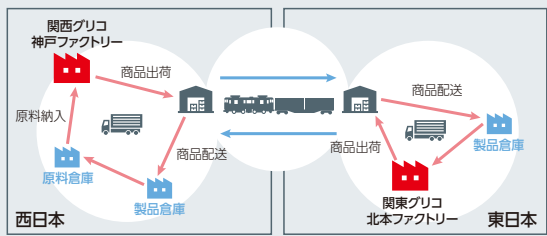
- 物流全体の効率を踏まえた物流拠点の展開・見直し
- 同業他社との共同配送の拡充による配送効率の向上
- 増トン車活用による積載量の向上
- 鉄道輸送へのモーダルシフトの推進

江崎グリコは、エコレールマーク取り組み企業として認定されています。



「平成30年度グリーンパートナーシップ優良事業者表彰」において、「経済産業省商務・サービス審議官表彰」を受賞（日本貨物鉄道株式会社、全国通運株式会社との協働）

「31フィートコンテナ」を活用し、原料納入や商品出荷・配送における鉄道&トラックの輸送を共通化することにより、環境負荷低減とドライバーの労働環境の改善に貢献しました。



（改善ポイント）
 ● トラック輸送から鉄道輸送への転換による環境負荷低減
 ● 同一コンテナでの原料納入・商品出荷による生産性向上

オフィスでの取り組み

オフィスで最もエネルギーを使用するのは、空調設備です。電気の使用量を削減するために、クールビズ・ウォームビズを推奨し、来社されるお客様にも趣旨をご理解いただけるよう掲示を行っています。

また、照明や電子機器を省エネ型にしたり、不要時の電源OFF徹底を呼び掛けています。

営業における取り組み

営業部門では、業務の効率化や省エネ、エコドライブを推進しています。CO₂の排出が少ないハイブリット車への入れ替えを進めています。また、グリコチャネルフリートでは、走行時のCO₂排出が少ない電気自動車を導入しています。

環境汚染の防止

ISO14001認証取得事業所では、環境法令遵守の仕組みに基づき、法令や地方ごとの条例等のチェックや、監視・測定を行っています。

また、環境汚染物質の漏洩を想定した訓練を定期的実施しています。



関西グリコ神戸ファクトリーでの訓練の様子。油が漏洩し、雨水系統へ流入したことを想定し、対応手順を確認しました。（2018年10月）

資源の有効活用

ゼロエミッション達成に向けた取り組み

ゼロエミッション達成*を目指し、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進しています。

*焼却時に廃熱回収あるいは、焼却灰が有効利用された場合は再資源化に含みます。工場廃棄物リサイクル率99.5%以上をもってゼロエミッション達成としています。

〈製造会社〉

- 生産効率の向上を図り、工程で発生するロスの削減や生産の合理化等により、廃棄物となる原材料や製品を削減しています。
- 工場に納入される原材料はその特性に応じてさまざまな包材で梱包されています。Glicoグループは取引先と協力して、原材料を輸送する際の容器のリユース化や、過剰包装の廃止に取り組み、原材料の品質を確保しながら梱包材を削減する努力をしています。

〈ゼロエミッション達成工場〉

- 仙台グリコ
- 東北グリコ乳業
- 関東グリコ
- 那須グリコ乳業
- グリコ千葉アイスクリーム
- 東京グリコ乳業
- 岐阜グリコ乳業
- 三重グリコ
- 関西グリコ大阪ファクトリー
- 関西グリコ神戸ファクトリー
- グリコ兵庫アイスクリーム
- グリコアイクレオ
- 鳥取グリコ
- 佐賀グリコ乳業

〈本社〉（事務部門・研究部門）

現在は、ゼロエミッションを継続しながら、廃棄物の絶対量の削減に取り組んでいます。

- 詳細な分別基準に基づく分別ステーションの設置により、「ゴミ」を捨てるという意識から、再資源化の分別をする意識に変わりました。

〈営業部門〉

江崎グリコの営業部門で発生する廃棄商品については、2002年度から再資源化に取り組み、飼料や肥料へのリサイクルを進めています。スーパーマーケット等で使用する販売促進品も廃棄量が多いため、計画的な使用計画を立て、資源を無駄にすることがないように取り組んでいます。

業務の効率化や見直しによる企業活動の質的向上

業務の効率化や見直しによる企業活動の質的向上が環境負荷低減に繋がるという考えのもと、事業活動の生産性向上やロス削減等に取り組んでいます。



〈事例〉製造会社におけるTPM活動

製造ラインが安定することで高品質、低コストな生産体制や安全性の高い職場環境を実現するため、TPM (Total Productive Maintenance) 活動を行っています。

Glicoグループの製造会社等が集まり、TPM活動の報告会を実施し、年1回優秀事例を表彰しています。



〈事例〉時間外労働の削減

業務の生産性をあげることで、時間外労働の削減に努めています。この取り組みにより、時間外のエネルギー使用を削減することができます。

〈事例〉ペーパーレス宣言

業務効率化を目的とし、ペーパーレスに取り組んでいます。同時に、資源の有効活用につながります。

ペーパーレス宣言

Glicoグループはペーパーレス化を実現します。

組織・個人のワークスタイルの変革により、ペーパーレス化を実現し、業務の効率化と生産性の向上を図ります。

ペーパーレス三原則

1. 「紙」を使用する業務プロセスをやめる

紙を介さないで業務を遂行していく業務フローを築き、実践する

2. 「紙」の出力(印刷・コピー)をやめる

「参照のため」「しかり資料チェック」「紙の配布」など、紙を出力する習慣からしない習慣へ

3. 「紙」の保管をやめる

書類の個人所有の原則禁止、電子データ化を行う

2018年1月

環境教育や安全取り組み

環境教育

従業員が公私を通じて環境への意識を高め、環境保全活動に積極的に取り組むように、Eラーニングのシステムを活用し、教育内容の理解度を確保するためのテストを実施するなど、定期的に環境教育を行っています。

また、ISO14001に関するより専門的な知識を習得し、内部監査員として活動するメンバーへの養成講座も開催しています。

〈環境ISO関連教育研修コース〉

定期環境教育の他、ISO14001取り組みに関するさまざまなEラーニングコースを提供します。



安全への取り組み

環境負荷低減に向けた課題解決が従業員の就業環境向上にもつながると考え、労働安全衛生に関する取り組みにおいても環境マネジメント体制を活用しています。

- 〈事例〉
- 業務効率化による時間外労働の削減
 - 安全運転とエコドライブ—交通事故削減
 - 製造設備への巻き込まれ防止対策の強化

環境コミュニケーションの推進

コミュニケーションの推進

全てのステークホルダーに対し、環境についても適切なコミュニケーションを行っています。

- ホームページでの情報開示
- 委託先・取引先への環境取り組みへの協力をお願い
- 地域の方からのご指摘等の受付
- 行政機関への届出や報告
- 学生の職場体験の受け入れ

行政指導・ご指摘等

Glicoグループでは、2018年度において環境に関する行政処分や訴訟等はありませんでしたが、東京グリコ乳業において、下水水質基準超過の注意書を受け、原因の特定と改善を実施しました。

また、事業所周辺地域の方からのご指摘をいただくことができました。いずれも解決済みですが、再発防止に向けて管理を徹底しています。

表彰・認定等

Glicoグループでは、複数の事業所所在の行政機関から環境に関する表彰や認定をいただいています。

関東グリコは、埼玉県より地球温暖化対策の推進が優れた「トップレベル事業所」として認定されました。(2018年4月)



江崎グリコでは、エコパウチを使用したガムの販売代金の一部から公益社団法人 国土緑化推進機構の「緑の募金」に寄付しています。

この実績が評価され、農林水産大臣感謝状をいただきました。(2018年7月)

